



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

19号

令和2年8月26日

六ツ美西部小学校長
山本 則夫

教育活動の正常化へ向けて

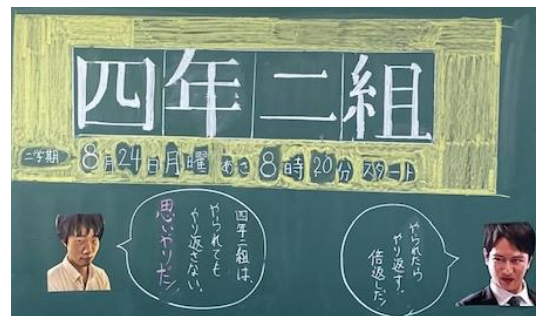
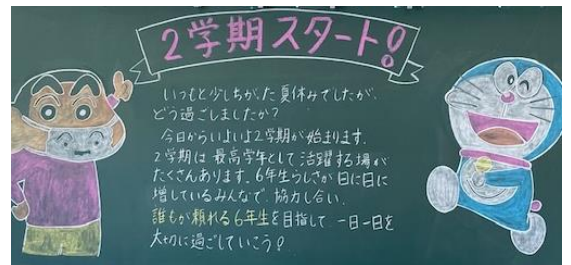
もしもコロナがなかったら…。今まさに日本中が東京オリンピック・パラリンピックでのメダル獲得に歓喜し、真っ黒に日焼けした子供たちは、夏休みの宿題の追い込みに必死になっている頃ではないでしょうか。

8月24日、2学期始業式、各学級では、それぞれの担任が思いのこもった黒板メッセージで子供たちを迎えていました。今年は、コロナ禍で37日予定されていた夏休みも半分以下の16日間でしたが、学校には、子供たちの笑顔が戻り、活気が出てきました。

本校では、夏休みの短縮や7時間授業等の特別日課で取り組んだ結果、どの学年も休校期間中の学習の遅れを取り戻しました。

最近では、コロナ以外にも猛暑による熱中症対策が大きな課題です。昨日も暑さ指数(WBGT)は一時、最高レベルの「危険」が示され、屋外での体育の授業や休み時間の外遊びも制限せざるを得ない状況でした。

2学期は、学校教育も少しずつ正常化へ向けて動き出します。1学期に実施できずに延期した運動会等の行事や保護者や地域の方をお招きした行事も例年とは形は変わりますが計画しています。子供たちが楽しみにしていた行事を実施するためにも、今後、御家族を含めた全員の体調管理をお願いします。少しでも本人や御家族に発熱や体調不良の兆しがあれば遠慮なく休ませてください。コロナ感染症に関係したお休みは欠席扱いにはなりません。出席できない期間が長引く場合は、学習のフォローもしていきます。子供たちが感染する原因の多くは、身近な大人から感染する家庭内感染です。私たち大人が原因で教育活動がストップすることだけは、なんとしても避けなければなりません。今後も感染予防策に対し、皆様の御理解・御協力をよろしくお願いします。



児童用タブレットを配付します！

学校のICT化が急速に進む中、岡崎市では、本年度「岡崎版GIGAスクール構想」を打ち出し、小学4年～中学3年の全児童生徒にタブレット(iPad)、キーボード、タッチペンを配付し、「授業での活用」「子供eラーニング」(家庭学習との連携)を実施します。本校にも職員と児童用のタブレットが順次送られてきています。

子供たちが鉛筆や消しゴムといった文房具のようにタブレットを扱う日が、もうすぐそこまで来ています。

